

## 大会宣言

連合は2019年に結成30周年を迎える。その節目を前に、次の時代の連合運動を力強く切り拓いていくためにも、今からの2年間を、足元をしっかりと固める期間としていかなければならない。

わが国は、人口減少に伴う課題の克服や第4次産業革命への対応など、未来への希望をつないでいくうえで重要な局面にある。その中で、誰もが互いに支え合い、希望を持って働き暮らせる社会のために、連合が掲げる「働くことを軸とする安心社会」の実現がより一層求められている。底上げ・底支え、格差是正の継続的な取り組み、社会保障と税の一体改革の着実な推進、教育の機会均等や能力開発の強化などを通じて、雇用と暮らしの安全・安心を確かなものとする必要がある。

現在、雇用形態間における不合理な格差の解消、長時間労働の是正など連合が求めてきた政策が進みつつある。しかし、「働く者のための働き方改革」を実現するためには、法律の整備だけでなく、職場や地域での実践こそが不可欠である。私たちは、集团的労使関係の強みを活かし、その先頭に立って取り組みを進めていく。

国民がさまざまな不安にさいなまれる中、今こそ、透明性高く、かつ丁寧に合意形成に努める姿勢が政治に求められている。私たちは、そのような政治と、働く者・生活者の立場に立った政策を実現するため、来たる衆議院総選挙での連合組織内候補ならびに推薦候補の全員当選に向けて全力を挙げる。

不確実さを増す中、分断のない平和で持続可能な世界に向けて国際労働運動に寄せられる期待は大きい。私たちは、国際労働組合総連合（I T U C）の運動に関与を一層強め、国際産業別労働組合組織（G U F s）とも連携しながら役割を発揮していく。

この大会で私たちは、社会変革の原動力としての労働運動を牽引するべく、連合組織内の参加と対話を推進し、組織力、政策力、発信力に一層磨きをかけていくことを確認した。労働運動の真価が問われている中、私たちは、「1000万連合」に向けた組織拡大の加速、非正規雇用、女性、若者をはじめ多様な仲間の参画促進、そして社会の共感と信頼を得る取り組みを力強く発信していく。私たちは、確立した方針のもと、一丸となってすべての働く者のための労働運動を力強く展開し、その社会的役割と価値を着実に次の時代につないでいく。

いまこそ、次の飛躍へ、確かな一歩を踏み出そう！

2017年10月5日  
連合第15回定期大会